

授業概要

福祉心理学は高齢者や子ども、女性、障害を持つ人等、社会の中で弱い立場に置かれがちな人びとに対して適切な支援を行い、あらゆる年齢のすべての人が健康で幸福な生活を送るための学問です。この授業では、様々な福祉現場において生じる問題やその背景、心理社会的課題について理解し、福祉現場における基本的な活動や倫理、必要な支援についての知識を深めることを目的とした講義を行います。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（少子高齢化や貧困など、福祉の現場が抱える問題）
第 2 回	福祉心理学について（社会福祉の歴史や制度と福祉現場における心理支援の必要性）
第 3 回	高齢者の心理学 1（老年期の心理的特徴と必要な支援）
第 4 回	高齢者の心理学 2（認知症高齢者の理解と支援の実際）
第 5 回	高齢者心理学 3（高齢者の家族が抱える問題と他職種との連携）
第 6 回	障害児・者の心理学 1（障害児・者を取りまく社会状況と心理的特徴）
第 7 回	障害児・者の心理学 2（身体・知的障害児・者に対する心理支援とその課題）
第 8 回	障害児・者の心理学 3（発達障害児・者に対する心理支援とその課題）
第 9 回	児童福祉の心理学 1（児童虐待の現状とその原因）
第 10 回	児童福祉の心理学 2（家族に対する心理支援）
第 11 回	児童福祉の心理学 3（児童虐待に対する心理支援の実際）
第 12 回	ゲストスピーカー（児童養護施設における公認心理師の活動）
第 13 回	ひきこもり・自殺予防の心理支援
第 14 回	暴力被害者への心理支援 1（家庭内暴力や性犯罪の問題とその支援）
第 15 回	暴力被害者への心理支援 2（社会からの差別や偏見による問題）
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ①福祉現場において生じる問題及びその背景について理解し、説明できる。
- ②福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援について説明できる。
- ③虐待についての基本的知識を学び、説明できる。

履修上の注意

- ・この科目は、公認心理師になるために必要な科目として対応しています。
- ・児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待などの問題についてより深く理解するため、日常生活での気づきやニュースを見て考えたことなど、受講生の皆さんから積極的な意見を求めたいと思います。

予習・復習

予習・復習が行いやすいよう、資料は毎回の授業で配布します。

【予習】授業の前に、各回のテーマについて関係するニュースや時事問題を調べておいてください。

【復習】リアクションペーパーでは授業への質問だけでなく、その日の授業を通して新たに学んだこと、考えたことについても書いていただくので、授業の復習として活用してください。

評価方法

学期末試験 70%、授業内レポート（毎回提出するリアクションペーパーへのコメント、講義への参加意欲等）30%で評価します。

テキスト

- ・教科書名：公認心理師の基礎と実践⑱ 福祉心理学
- ・著者名：野島一彦・繁樹算男 監修 中島健一 編
- ・出版社名：遠見書房
- ・出版年 (ISBN)：2018 年 ISBN : 9784866160672